

# ふ・れあ・い

2014  
10月・秋号

Human♥Communication

## Vol.18

人と心に響き合う

清恵会グループ広報誌

### FREE

ご自由に  
お持ちください



特集

ご存じでしたか？

## リハビリテーションの3つの役割

健康と美容の

ワンポイント!アドバイス

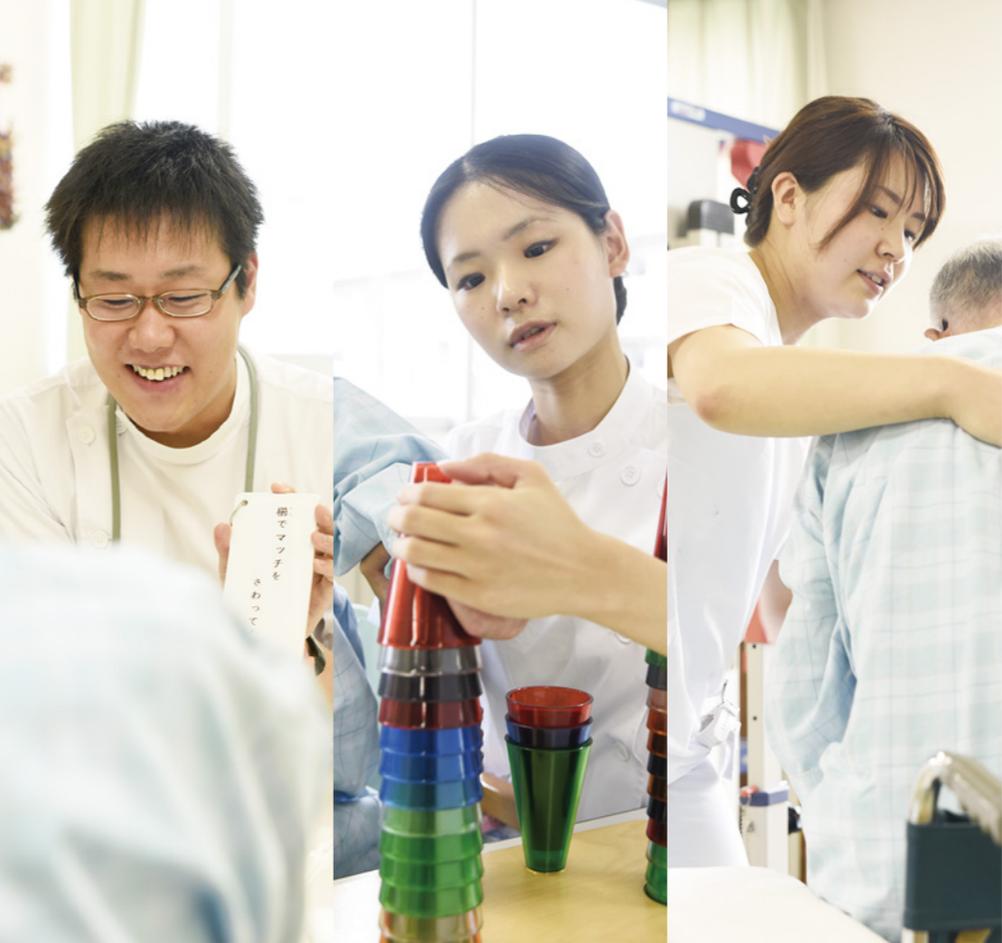
### 「便秘のあれこれ」



社会医療法人 清恵会

# 特集 ご存じでしたか? リハビリテーションの3つの役割

リハビリテーション。今まで一度も経験したことがなくても、よく耳にする言葉ですね。手すりをつたっての歩行訓練。思うように動かなくなった手足の運動。スポーツ選手の復帰に向けた治療。そんなイメージが思い浮かぶでしょうか。そうです。しかし、それだけではありません。今回は、知ってるようで知らないリハビリテーションを、さまざまな角度からご紹介します。



## 理学療法、作業療法、言語療法、3つに大別される リハビリテーション

身体に障害を負った人が社会生活に復帰することを目指して、あるいは適応することを目指して、セラピスト(療法士)とともに行う訓練や治療。一言でいえば、これがリハビリテーションです。身体に障害を負う原因は、けがや病気、加齢、生まれついてなど、さまざまです。けがや病気をしない人はいません。年を取らない人もいません。つまり、リハビリを経験する可能性は誰にもあります。さらに、身体だけではなく精神的・心理的な障害もリハビリの対象です。

リハビリテーションの種類は、「理学療法」「作業療法」「言語療法」の大きく3つに分けられます。各療法の役割を端的に言えば、**理学療法は、とにかく体を動かすことができるようにすること。作業療法は、生活ができるようにすること。言語療法は、話すことや食べることの問題を改善します。**そして、それらのリハビリを施すのが、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門家たちです。3つに大別されるとはいえ、障害のある部位も症状も原因も一人ひとり異なりますから、その訓練や治療法も一人ひとり異なります。また、発症間もない時期や回復に向かっている時期など、時期的状況によっても変わります。

## 理学療法 からだの能力を動作に つなげるリハビリテーション



立つ、座る、寝る、起き上がる、歩く。人が毎日、幾度となく繰り返す基本動作です。この当たり前ともいえる基本動作が、けがや病気、加齢などの理由で、思うようにできなくなる場合があります。生まれつきの障害の場合もあります。その、損なわれた身体機能を回復させるために、あるいは、それ以上悪くならないよう維持するために行うリハビリテーションが、理学療法です。治療法は、関節や筋肉などを動かす運動や体操などを行う運動療法と、温熱、電気、光線などの物理的エネルギーを応用した機器を使って行う物理療法とがあります。けがや病気によって、ある日突然、歩けなくなる、起き上がれなくなる。誰にでも起こり得ることでしょう。つまり、理学療法は特殊な医療行為ではなく、普段行っている動作を再獲得させるリハビリです。障害者や高齢者の自立支援から、赤ちゃんの発達支援まで。それが理学療法のフィールドです。

## 特集 ご存じでしたか? リハビリテーションの3つの役割

損なわれた身体機能が、完全には回復しない場合もあります。放置しておくと、機能が失われてしまうことも。一人では着替えも食事もトイレに行くこともままならず、支える家族にも負担と心労が生じます。完全に元通りではなくても、「なるべく一人ででき

るようになりたい」。そんな気持ちを支えるのも、理学療法の重要な役割です。やや難しい表現になりますが、ADL(日常生活動作)の改善を図り、QOL(生活の質)の向上を目指す。たとえば障害があっても、住み慣れた場所、自分らしく生きていく。そのためのお手伝いをするのが理学療法であり、理学療法士なのです。身体の働きを取り戻すだけでなく、自分らしさを取り戻すために。理学療法士は、自立支援、発達支援、健康増進、介護予防と、さまざまな場面でサポートを行っています。

### 「理学療法の対象」

- **中枢神経疾患**  
脳卒中、脊髄の損傷、脳の外傷、中枢神経の疾患、小児の発達障害、他
- **整形外科疾患**  
手足や脊椎の骨折、腰痛、腰椎椎間板ヘルニア、靭帯損傷、変形性関節症、四肢の切断、他
- **呼吸器疾患**  
慢性閉塞性肺疾患、肺炎、結核の後遺症、ぜんそく、全身麻酔術後の肺機能低下、他
- **心疾患**  
心筋梗塞、狭心症、他
- **内科的疾患、体力低下**  
糖尿病、高齢、術後の体力低下、メタボリックシンドロームによる運動指導対象者、他

(公益社団法人日本理学療法士協会) ホームページより抜粋(加筆)



体幹の動きや動きを改善するために訓練用具「セラボール」を使って運動を行います。

### 清恵会三宝病院 理学療法科の特色

急性期病院を退院した患者様が、リハビリのために三宝病院を利用されます。自立のめどが立てば、通所リハビリや訪問リハビリに移行します。三宝病院の理学療法士は、清恵会病院(急性期)および介護事業部(通所リハビリ、訪問リハビリ)との情報交換を頻繁に行い、患者様が清恵会病院に入院していたときの状態、三宝病院を退院後の在宅生活の様子を確認しています。つまり、急性期から在宅まで、そのすべてを清恵会グループで見守ることが可能です。その利点を生かし、三宝病院では、退院後の生活を想定した訓練、家族への介助指導、環境設定(住宅改修、手すりの設置)の提案など、総合的なリハビリを実践しています。

理学療法科 科長 笠本勝弘



まごころとからだのリハビリテーション

作業療法の「作業」とは、例えば、料理や掃除、工作や手芸、園芸や農業、遊びや運動など、人間の日常生活に関わるすべての活動を意味します。そして、これらの活動を通じて行うリハビリテーションが、作業療法です。理学療法と同じく、けが、病氣、加齢、生まれついでなど、さまざまな原因によって体や心に障害のある人が作業療法の対象であり、障害による身体機能の低下を防ぎ、身体機能を回復するためのリハビリです。その人の症状や目的に合った作業を、時間をかけて段階的に行います。ですから、作業療法室には通常、さまざまな道具や設備が用意されています。



患者様が興味をもって練習できるようなカラフルな道具もたくさんあります。

作業療法目的として定められているのは、歩いたり、食べたり、遊んだり、仕事をしたり、外出して他人と関わったりすることができるようになること。たとえ身体機能の一部を失ったとしても、残っている他の機能や能力を最大限に活用すれば、それが可能になります。それを可能にするために行うのが作業療法であり、作業療法士の役割です。障害と上手に付き合いつつ、より良く生きていけるように。作業療法は、まごころとからだのリハビリテーションと呼ばれています。

「作業療法の対象」

- **体に障害のある人**  
脳卒中、パーキンソン病、リウマチ、脊髄損傷、他
  - **心に障害のある人**  
統合失調症、躁うつ病、アルコール依存症、認知症、他
  - **発達期に障害のある子ども**  
脳性麻痺、精神発達遅滞、自閉症、学習障害、他
  - **老年期に障害のある人**  
認知症、脳卒中、骨折、他
- （一般社団法人日本作業療法士協会「ホームページより」）



自宅に帰り家事をする必要がある方には実際に洗濯などの動作も練習します。

清恵会三宝病院 作業療法科の特色

三宝病院の作業療法室は約135㎡という、ゆったりとした広さがあり、各種の治療器具をはじめ、日常生活や仕事に関する作業に必要な設備機器を備えています。調理、食事、トイレ、風呂、洗濯、掃除、仕事をしたり、絵を描いたり。それらは、身体が動かせるだけではできません。道具の使い方や手順が分かること、そして何よりも、「自分でしたい」という気持ちが大切です。その気持ちに、私たち作業療法士は応えます。病棟のお風呂で入り方を練習したり、実際にカレーを作ったりします。皆さんの「したい」を「できる」に変えられるようお手伝いするのが、三宝病院の作業療法です。

作業療法科 科長 山内和江



話す・聴く・食べるの問題を改善

言語療法は、正式には言語聴覚療法といい、言語・音声障害、聴覚障害、摂食・嚥下（えんげ）障害に対して行う治療法です。分かりやすくは、言葉の障害、聴こえの障害、飲み込みの障害といえます。それらは、生まれついでの場合、けがや病氣、成長や発達の問題、加齢など、いろいろな理由によって起こります。つまり、言語聴覚療法とは、「話す・聴く・食べる」の障害に関するリハビリテーションです。

言葉の障害は、例えば脳卒中の後遺症、失語症、発達の遅れ、生まれつき耳が不自由などが原因で、上手に話せない、話が理解できない、文字が読めないといった症状があり、それは小児から高齢者まで幅広い年齢層に現れます。また、声がかすれる、大きな声が出ないなどの症状や、ろれつがまわらないという発音の問題も起こります。聴こえの障害も、けが、病氣、高齢による聴覚の衰え、先天的な障害などが原因で、会話や音声が聴きづらく（または聴こえず）、日常生活やコミュニケーションに支障を来します。飲み込みの障害、つまり食べ物をかんで飲み込んだり、飲み物を飲むこと

が難しくなる状態も、口から胃に至るさまざまな部位に問題が発生することによって起こり、日常生活どころか健康を保つことさえ困難になります。

このように簡単に紹介するだけでも、話す・聴く・食べるの障害は多岐にわたり、また、合併症の場合も少なくありません。そのため言語聴覚士には、幅広い専門知識と技術が必要です。その知識と技術で、症状や原因、発症のメカニズムを明らかにし、各種の検査やテストを行って改善プログラムの作成して、一人ひとりに最適と思われる訓練、治療、生活支援を実践します。

「言語聴覚療法の対象」

- **言語障害**  
失語症（言葉が出ない等）、構音障害（言葉が正確に発音できない等）、言語発達遅滞（言葉の遅れ等）、音声障害（声がかすれる等）、他
- **聴覚障害**  
音声が聴こえない、音声が聴きづらい、等
- **摂食・嚥下障害**  
拒食症や過食症、飲食物が飲み込みづらい、等

清恵会三寶病院 言語療法科の特色



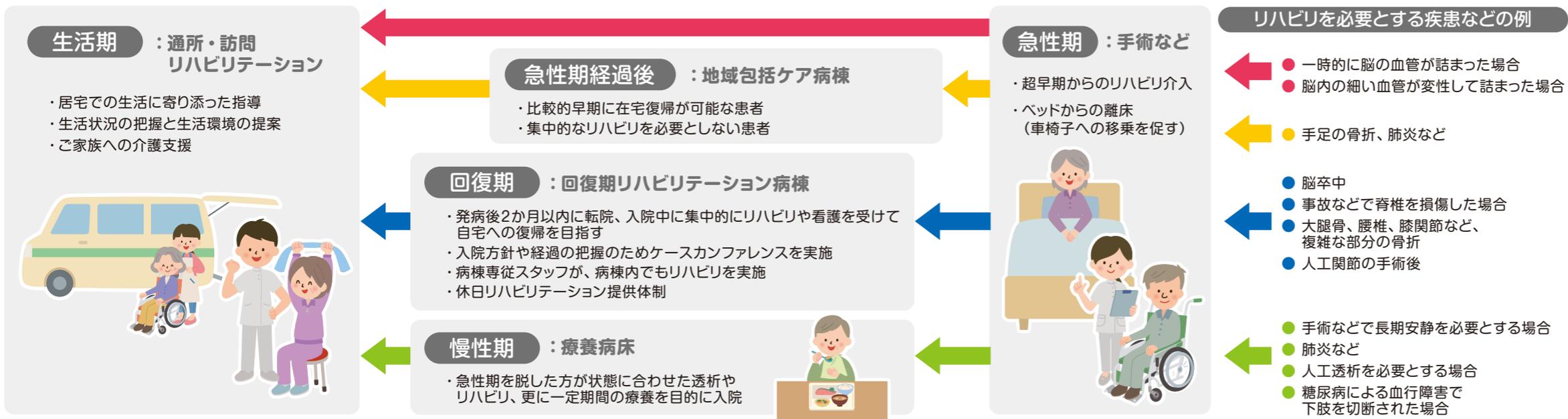
摂食・嚥下訓練中です。気管に食べ物が入らないような姿勢で、一口量も調整します。

三宝病院では、病状が落ち着き、いよいよ集中して訓練を行うという患者様が主な対象です。私たち言語聴覚士は、コミュニケーション障害（失語症・構音障害・高次脳機能障害など）になった患者様の症状や原因を分析し、治療計画を立て、お一人おひとりに合った訓練を実践します。言語の訓練は、静かな環境下で集中して少しでも効果を上げられるよう、主に個室で1対1で行います。また、食物を食べられなくなったり飲み込めなくなったりした（摂食・嚥下障害）患者様に対しても、同様に原因分析・治療計画作成の上、訓練を実施します。例えば、鼻からチューブで栄養を摂っていた患者様が口で食べられるようになるまで、患者様に寄り添い、サポートを続けていきます。

言語療法科 科長 濱田ゆかり

特集 ご存じでしたか？ リハビリテーションの3つの役割

**社会医療法人清恵会のリハビリテーションの 主な流れと特色**



※患者様の状態により、上記の流れと異なる場合があります。

清恵会グループでは、あらゆる治療と回復時期に応じた総合的なリハビリテーションを実践しています。理学療法、作業療法、言語療法の3つに大別されるリハビリですが、一人の患者様に対して、3分野のセラピスト（療法士）が関わることも少なくありません。さらには、セラピストだけでなく、医師や看護師、管理栄養士などのスタッフとも連携して、チーム医療で一人の患者様を見守る体制を清恵会グループは整えています。また、発症・受傷間もない急性期から回復期および慢性期、自宅などでの生活期まで、すべての状況にきめ細かく対応できるのも、清恵会グループの大きな特色です。

あらゆる状況に応じた  
総合的なリハビリテーションを実践

**リハビリ・ストーリー**

ある日、Hさんは――

Hさんは、毎週スポーツジムに通い、また、地域の自治会の活動などにも積極的に取り組むなど、とても元氣な男性でした。ある日、脳出血による左手足の運動まひやコミュニケーション障害を発症しましたが、治療のかがあり、もともと体力があることから回復も早く、リハビリに取り組みままでになりました。

**理学療法**

Hさんは、病気を治して自宅へ戻ることを目標に、立ち上がりや歩行、階段の昇り降りといった生活動作の獲得を目指して、現在、前向きにリハビリを行っています。一方、三宝病院の担当スタッフはHさんのご自宅へ伺い、住宅の改修や必要な福祉用具、介護保険サービスなどをご家族とご相談しながら、退院に向けての準備を始めました。



**作業療法**

生活をする上で、例えばお箸など、多くの物を手で扱います。作業療法士は手の機能改善における専門的な知識と技術を持っており、運動まひで動きにくくなった左手を中心に、Hさんご自身で行える動作を一つでも多く増やすことができるよう、リハビリを行っています。



**言語療法**

Hさんの言語障害を調べ、能力の向上を目指してリハビリを行っています。訓練は、ストレスが少なく、人と関わりを楽しんでもらえるように工夫しています。また、言葉が出にくいといった症状についても、具体的・精神的な支援を行っています。



※患者様とご家族の承諾を得て、撮影に協力いただきました。

# 医心 伝心

医の最前線から  
第十八回



呉 美枝

清恵会病院 内科部長補佐

1982年、大阪医科大学卒業。  
1983年、大阪医科大学附属病院第一内科教室入局。  
1995年、住友病院医員。  
1996年、大阪医科大学 専攻医(第一内科教室)。  
2002年、清恵会病院。  
2005年、大阪医科大学 助手(第一内科教室)。  
2006年、清恵会病院勤務。現在に至る。  
日本内科学会認定内科医、認定内科専門医、日本糖尿病学会認定医、認定産業医、病態栄養学会専門医、人間ドック学会認定医、プライマリ・ケア学会認定指導医、医学博士。

患者さんのライフスタイルを見つめて——

## 清恵会グループの チーム力

患者さんと長く関わる事のできる内科を選び、ライフスタイルや教育に興味があったことから糖尿病を専門にしました。現在は、清恵会病院内科の紹介外来と入院、三国丘クリニックの糖尿病外来を担当しています。糖尿病の教育入院



や療養指導は医師だけによらず、各種スタッフのチーム力がとても大切です。ありがたいことに清恵会グループには、患者さん思いで優しく、やる気のあるスタッフが揃っています。

## 患者さんの顔を見れば 分かります

救急病院としても大きな役割を果たす清恵会病院へ外科系で入院された際の血糖値管理にも関わっています。一般的に手術や炎症、ストレスがもとで急に血糖値が悪化することが多く、また血糖値が良好な状態でないという創部の治り方や病状の安定化が遅れることもあります。そこで登場するのがインスリン注射です。インスリンと聞いただけで、拒絶反応を示す方は今

も多いようですが、臍臓の保護に優れた効果があり、血糖値を速やかに改善します。私が働き始めて20年以上になりますが、この間にも多岐にわたるインスリンや薬が開発され、使用できるようになりました。専門医としては、こうした薬剤が患者さんの血糖値を良好に維持し、ライフスタイルに上手く調和するよう工夫に努め、糖尿病合併症の予防や進展が阻止出来るように研鑽を積んでいきたいと思っています。

ほとんどお酒は飲めないのですが、食べることは大好きです。最近は代謝が落ちて、さすがに太りやすくなってきました。仕事上、体重を厳格にチェックしていますので、通院患者さんの顔をみれば体重の増減量が大体分かります。患者さんと共に食べ方やライフスタイルについて、しっかり考えていこうと思っています。

# ナース・フェイス Nurse Face

私の看護、私の思い



## リハビリテーション 看護がしたい

10年ほど前に清恵会グループで看護師として働いていましたが、結婚を機に退職して堺市を離れ、引越した先の急性期病院で6年間勤めました。急性期病院でも高齢の患者様は多く、入院治療でADL(日常生活動作)が低下する方が大半です。患者様が早く元の生活に戻れるようじっくり看護したいと思うものの、緊急を要する患者様が次々と搬送されてくる急性期病院ではそれもままならず、業務に追われる毎日でした。そんな中、清恵会にいた頃のことを思い出し、「また回復期リハビリテーションの看護がしたい」という思いが次第に強くなりました。回復期リハビリテーションは、いわば患者様の治療過程の中間地点であり、患者様のその後の生活を左右する重要な役割を担います。疾患などにより



荒屋 由里子

清恵会三宝病院  
3A病棟(回復期リハビリテーション病棟)看護師  
2003年4月入職、2014年4月再入職

失われた機能をいかに回復させるための看護ができるか。それが、清恵会で私が日々学んでいたことでした。そして、今年の4月、私は清恵会三宝病院に戻ってきたのです。  
病棟では、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士など、他職種とのカンファレンス(会議)の機会も多く、また常駐している療法士もいるため、患者様に何か問題などがあれば、その都度、ディスカッション(討議)ができます。患者様は病棟生活で実践的なリハビリに励み、病棟は落ち着いた雰囲気です。ゆったりとした時間が流れています。  
私は今、リーダー業務や新人看護師を教育する仕事も担っていますが、三宝病院は、私がいた頃よりさらに看護が確立されていて、私自身もまた新たに学ぶことがたくさんあります。今後は、各種の資格取得も目指しながら、しっかりと患者様に寄り添っていききたいと思っています。

# 地域医療ネットワーク

清恵会病院と共に地域の医療を支え合う  
医院・クリニックをご紹介します。



何でも相談できる地域のかかりつけ医として

## もりた整形外科クリニック

堺市北区東三国ヶ丘町5-2-17 SATOMOビル2階

☎072-240-8820

- 診療科目／整形外科、リハビリテーション科
- 診療時間／月曜～土曜 9:00～12:00、16:30～19:30(火曜・木曜のみ)
- 休診日／日曜、祝祭日
- 開院年／2001年



広々としたリハビリテーション室

この地で開院して13年目になります。その内の1年間は私の体調不良でやむなく休診していましたが、今年の2月からは、火曜日と木曜日のみですが午後の診療も再開しています。

患者様のほとんどは近隣にお住まいのご高齢の方ですが、当院はビルに駐車場も完備されているため、遠方からお越しになる患者様もいらつしやいます。また、火曜と木曜は夜7時30分まで診療しているため、青壮年層の方や学童期のお子さんも来院されます。

疾患は、腰痛をはじめ膝痛、肩こりなどさまざまですが、高齢の方が多いため、悪性腫瘍などが隠れている場合もあり、迅速な診断や治療を心がけています。また、介護保険の主治医意見書の作成や、通院が困難な患者様に可能であれば訪問リハビリの指示書作成も対応しています。

設備面では、待ち時間短縮の

### 一人ひとりの希望に応じた医療を

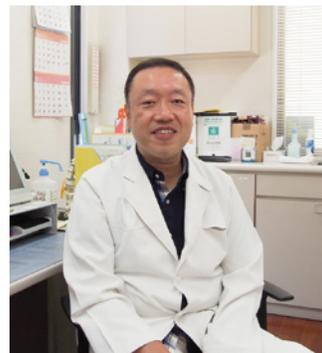
ための電子カルテ、骨粗しょう症のスクリーニング検査対応の画像診断装置、最新のリハビリ治療器など、各種機器を完備しています。

当院は、専門以外でも、さまざまなことでも、何でも相談できる地域のかかりつけ医として、一人ひとりの希望に応じた医療の提供を目指しています。

### 清恵会との関わり、これからの思い

開院以来、救急や外科的治療、またMRIやCTなどの各種検査にも迅速に対応していただいています。今後も、さらに良好な病診連携の構築を目指し、一人ひとりの患者様により良い医療を提供できるように、信頼関係を深めていきたいと考えています。

私が病気になったとき、患者様や地域の先生方には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。診療を再開できたのも皆さまの励ましや協力があってこそと実感しており、今まで以上に恩返しができると思います。



院長の森田謙一先生

患者様とのコミュニケーションを大切に

## 岡室クリニック

堺市堺区向陵東町2-9-5

☎072-257-6518

- 診療科目／循環器科、内科、小児科
- 診療時間／月曜～土曜 9:00～12:00、月・火・水・金曜 16:30～19:00  
月・火・水・金曜 15:45～16:30(16:15受付終了) 予防接種・健診(予約のみ)
- 休診日／日曜、祝祭日
- 開院年／1996年



### 心臓病から予防接種まで

開院から19年目を迎えました。院長である私の専門は、狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈などをはじめとする心臓病です。病院勤務医の時代から他の内科疾患や小児科疾患なども診る機会が多かったため、開院後も循環器に限らず、乳幼児から高齢者まで、さまざまな疾患を診療しています。

また、乳幼児を含め、各種健康診断や予防接種なども予約制で行っていますので、お気軽にご相談ください。

### 長期的なライフサポートを目標に

当院では、患者様とのコミュニケーションを大切にし、丁寧な問診、診察、検査等の上で治療を行います。必要の際には、患者様の意思を尊重しながら、適切な専門医のご紹介も行います。

また、患者様のライフサポートを目標に、過去のデータや他院のデータなども大切にしながら、長期にわたって患者様の健康管理を行えるよう、スタッフ一同、心がけています。

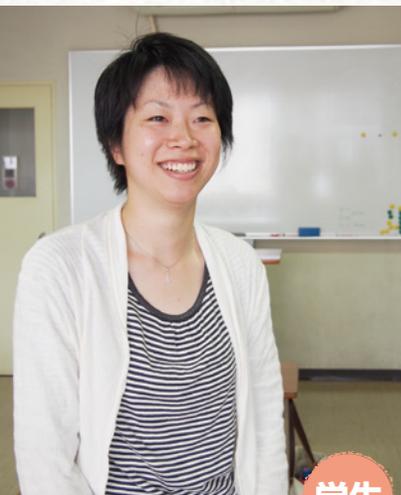
### 清恵会は心強い存在

私の父、故・周一が清恵会病院にほど近い場所で開業していたこともあり、大変お世話になっていました。1990年、私が大阪の病院に勤務していた頃、清恵会病院が心臓血管造影に携わる医師を探しているとのことで面談を希望され、訪問させていただく機会がありました。当時、書籍の出版や学会活動でも著名な循環器内科の故・川井信義先生のお話しを伺うことができ、深い感銘を受けたことを今でも覚えています。

私が開業してからも、検査・診断・治療など病診連携の上で、清恵会病院は大変心強い存在です。



院長の岡室周英先生とスタッフのみなさん



理学療法士科 36期生  
西原 舞

学生

### 平日の平均的なスケジュール



一人暮らしなので、家事もやっています!

**大卒や社会人も多く、和気あいあいと**

大学4年生の時、就職を決められず悩んでいたところ、元看護師の母から理学療法士という仕事を紹介されました。医学知識や治療技術を駆使して、ケガや病気で身体が不自由になられた方が社会に復帰するための力になれることに大きな魅力を感じ、この道に進むことを決意しました。

理学療法士の勉強は、方程式のように必ず決まった答えが導き出せるとは限りません。授業で習って覚えたことを十分に理解し、それらを臨床の現場で使える知識に変えていく能力が必要とされている、と感じています。

私のように大学を卒業した人や社会人も多いクラスですが、授業が終わっても皆で食事に行ったりと、年齢など関係なく和気あいあいとした雰囲気ですよ。この学院の特色である少人数制のおかげで先生との距離も近く、勉強の分からないところ、実技の苦手なところはすぐに指導していただけます。厳しさと優しさを持って、いつも私たちと本気で向き合ってください。先生方は、私たちの強い味方です。

## 学生たちの未来 先生たちの今

清恵会グループには、二つの医療専門学院があります。夢と希望と決意を胸に、明日の医療界を目指して毎日頑張っている学生たちがたくさんいます。その学生たちをサポートする先生たちもまた、情熱と愛情と使命感に溢れています。そんな学生と先生の学院生活をご紹介します。



▲実技指導の様子

かつての私がそうだったように、学生とは相談しやすい関係を築きたいと思っています。距離感や配慮は難しいですが、近すぎず、遠すぎず、と配慮しています。一番やりがいを感じる瞬間は卒業式ですね。学生たちが頑張っているのを3年間ずっと見てきているので、思わず思い泣きすることもあります。卒業までは私も本当に悩みます。一人ひとりに、どのように働きかければ、もっと成長してくれるのか。そのタイミングや言葉など、いろいろと考えて学生たちに指導します。それだけに、学生たちが巣立つ卒業式の、あの笑顔と涙を見た瞬間は、本当に教員という仕事の素晴らしさと喜びを感じます。これからのそんな感動的な場面に数多く立ち会えるよう、学生たちと共に自分も成長していきたいと思っています。

### 学生たちの笑顔と涙を見るまで



先生

理学療法士科 専任教員  
松山 紘彰

私は清恵会第二医療専門学院の卒業生です。卒業してからも学校の先生にはいろいろと相談に乗ってもらっていて、ある日、「よかったら教員として戻ってこないか」と誘っていただきました。臨床現場で働いていた頃、新人教育や学生教育を主に担当していて、教育への難しさと意欲を感じていましたので、思い切って教員の道に進みました。しかし、教員を本職としていても理学療法士であることは忘れたくないので、休みの日にはできるだけ現場に出るようになっています。



**透析とは――**

血液透析は、腎臓の働きが悪くなり、尿の出が少なくなったり出なくなったりした、いわゆる腎不全の患者様が受ける治療であり、血液を体外で循環させて透析器に通すことにより、水や尿毒素を除去して血液を浄化するというものです。腎臓を治すのではなく、腎臓の機能の一部を代行する対症療法です。

週3回、1回約4時間。準備や止血などを含めると5時間ほどかかります。そして、ほぼ一生継続することになりますから、透析室スタッフとの関わりも続いていくこととなります。ですから、私たち透析室スタッフは医療従事者と患者様という関係だけでなく、人と人のつながりを大切に、透析を患者様の生活の一部と考え、いかにその質を高め、快適で安心・安



全な治療を提供できるかを常に追求しながら透析業務にあたっています。

**三宝病院の透析とは――**

血液透析という、歴史のある堅実な治療法に清恵会は早くから取り組み、昭和50年12月の人工腎センター(第一分院：現、向陵クリニック)の開設で体制を整えました。しかし、当時は黎明期ゆえに透析機器も不安定で、患者様も「とにかく生きていたい」という、生命維持が目標という状況でした。その後、日進月歩で透析技術も進化し、患者様も「生きて楽しみたい」という、生活の質(QOL)の向上を目指すようになりました。そんな中、清恵会三宝病院は、リ

＜透析患者様の内訳＞

- ◎約100名の内、約85名が入院患者様。
- ◎車椅子利用者が7〜8割、ベッド移乗者が約1割。
- ◎80歳以上が約3割、70歳代が約4割、60歳代が約2割、60歳未満が約1割。

＜透析室について＞

- ◎透析ベッド41床(内スケールベッドが13床)。
- ◎月水金・火木土とも、午前・午後の2クルールの血液透析に対応。
- ◎午前9時より、および午後1時頃(空ベッド状況による)より入室。

＜スタッフ＞

- 常勤医師2名
- 非常勤医師2名
- 看護師10名
- 看護補助者3名
- 臨床工学技士11名
- クラーク2名

ハビリ療法と透析治療の機能を併せ持つ療養型病院として平成16年11月に開院。その透析室も高齢化や日常生活動作(ADL)の低下などで入院が必要な患者様、シヤント手術・血管形成術(※)が必要な患者様に対応できる施設として約10年が経ちました。今後は、これまでの経験を踏まえ、さまざまな合併症を持つ多くの高齢入院患者様に一層寄り添い、透析の副作用などから起こる、特有の急激な体調変化や個人差に対処できるよう、そして、患者様に「まだまだ生きていける」と思っていただけのように、最善を尽くしていきたいと思っています。

※シヤント手術は血管をつなぎ合わせる手術。血管形成術は血管内を広げる手術。

# 血液透析センターの紹介

臨床工学科科長  
野毛 豊文

通常、食物は食べた後、24～72時間で排泄されます。便秘の症状は多彩で、排便の回数や量は個人差が大きいため、便秘を明確に定義することは実は難しいのです。

- 排便回数の減少
- 排便量の減少
- 残便感
- 腹部膨満感
- 腹部不快感
- 排便時の強いいきみ



目安としては、「**排便回数の減少**」は週に平均3回未満の状態、慢性便秘症は、**症状が長期間続いている、もしくは間欠的に1～2カ月にわたって続いている状態**をいいます。

## 健康と美容のワンポイント! アドバイス

### ～その6～ 「便秘のあれこれ」

清恵会病院 内科副部長  
内視鏡センター長  
星本 真弘



#### 便秘で肌荒れになるの?

便秘と肌荒れとの関係性は、医学的には証明されていません。しかし、腸内に便が滞留し続けるのは、栄養の消化吸収と不要物排泄の循環を阻害しますから、それが人によっては肌に影響しているのかもしれない。

#### どうして女性に多いの?

便秘を訴える人は、20代～50代の男性では1,000人あたり10人前後に対し、女性では40人前後います(平成22年国民生活基礎調査)。加齢によって男女ともに増加し、75歳以上ですれも約1割を超えます。

女性はもともと内臓を支える靭帯が柔らかく伸びやすいため、胃や内臓の下垂が起こりやすい体質です。下垂していると消化機能も低下していることが多く、食べ物や便が停滞しやすくなります。また、大腸が圧迫されることも便秘の原因になります。

#### 予防のポイント

- 朝食の後、毎回、便意の有無にかかわらず排便を試みる。
- もよおした便意は我慢しない。(たとえ隣の個室に誰かが入ってきても、です。)
- 毎日決まった時間に食べる規則正しい食生活を心がける。
- 食物繊維やオリゴ糖を摂取する。(酪酸菌は食物繊維、ビフィズス菌はオリゴ糖を栄養に増殖します。)
- 適切な水分摂取を心がける。
- 軽度に運動(食後の散歩など)する。
- ストレスをためない。

#### 薬を使うときの注意

**センナ** 大腸刺激性下剤であるセンナは便秘改善の切り札的な薬だと思ってください。繰り返し使うと少量では効かなくなる薬剤性便秘になります。

**浣腸** 使いすぎると直腸機能性障害になります。度を越した使用はやめましょう。また、ウォシュレットで刺激するのもほどほどに。

※血便が見られたとき、普段は便秘でない方が急に便秘になったとき、多量に飲まない薬の効果が得られない等、そんなときは受診してください。腸の疾患や薬剤性便秘の疑いがあります。

#### 腸の体質に大いに関与する細菌集団「腸内細菌叢」

細菌は何千という種類が存在します。人の腸内には、その何千種のうちの200～300種が分布しており、その細菌集団を「腸内細菌叢」といいます。これを構成する細菌の組み合わせは一人ひとり異なります。10代の頃までに腸に生息する種類が選ばれて確定し、その後は生涯変わりません。将来、腸から排出される便から個人を特定できるようになるかもしれません。

この細菌の組み合わせは、生まれたときからの食習慣で決まってくるらしいことが分かっています。例えば、酪酸菌が多い人は腸の病気になるにくく、この人は乳製品を多く取っていたりします。

また、米国の医学雑誌に、健康な人の便から得られる腸内細菌を、特定の疾患を持つ人の腸に入れて効果があったという論文が発表されました。今、細菌の力を利用した「糞便治療」は注目の研究なのです。



## 2 医師の負担を軽くし、現場を円滑に

多くの患者様を診察する医師の負担を軽減し、安定的かつ継続的な医療提供体制を整えることを目的としています。医師は患者様と向き合う時間が長くなり、治療に専念することができます。そのため、私たちDAの仕事は医師や医療スタッフとのコミュニケーションが何より重要です。

#### 仕事例① 紹介状の作成

患者様の紹介状を作成する際は、医師が症状に関する本文を記載し、DAが宛先の病院名や当院の処方などを追記して効率化を図ります。

#### 仕事例② 内視鏡検査中の記録

内視鏡の検査の際には、両手でファイバースコープを操作する医師の横にいて、医師が伝える内容を記録します。

#### 隙間を埋めてくれる存在です

「DAが代行している内容は、必ず確認します。以前は、すべて自分で行っていました。今は、私が病院にいないときや、手術で手が離せないときにも仕事を進めてくれており、困ったときに隙間を埋めてくれる存在です。診察や手術に集中でき、いつも感謝しています。」  
(整形外科 医師 上山秀樹)

外来担当、入院担当、そして手術室を担当するDAがいます。



外来担当

入院担当

手術室担当

# クローズアップ!

清恵会の仕事見せます

## vol.5 医師事務作業補助者

近年、病院のスタッフとして働く「医師事務作業補助者」。いったいどんな仕事をしているのかをご紹介します。

### 1 こんなお仕事です

医師事務作業補助者は、これまで医師が行っていた事務的業務を、医師の指示のもとで代行に行うのが仕事です。診断書や紹介状などの文書作成、検査の予約、診療記録(電子カルテ)への代行入力、処方箋の作成も行います。

病院によって呼称はさまざま、清恵会病院では「DA(ドクターアシスタントクラーク)」と呼びます。医療事務として現場で経験を積んだスタッフが、特定の研修を受けて医師事務作業補助者としての基礎を学び、DAになります。



◀画像も含め診療情報はすべて電子カルテで管理しています。パソコン端末から間違いがないよう入力します。

# 清恵会グループのご紹介

## 清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁2番10号

## 清恵会向陵クリニック

人工透析外来

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁2番11号

## 清恵会三国丘クリニック

専門外来【予約制】

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁4番10号

## 清恵会本部

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号

いずれも ☎ **072-251-8199(代)**

## 清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリテーション

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号

☎ **072-257-6074**

## 清恵会医療専門学院

看護師・准看護師養成校

〒591-8031 堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地

☎ **072-259-3901**

## 清恵会第二医療専門学院

理学療法士・診療放射線技師養成校

〒590-0026 堺市堺区向陵西町4丁5番9号

☎ **072-222-6226**

## 清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番地の1

☎ **072-226-8131(代)**

## さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番地の1

## きらきら訪問リハ三宝

訪問リハビリテーション

清恵会三宝病院 介護事業部

☎ **072-225-0066**

## ケアプラス(照恵商事株式会社)

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁6番25号 神田ビル2階

☎ **072-259-4622**

清恵会グループの  
WEBサイトもご覧ください



<http://www.seikeikai.or.jp/> 清恵会 検索

### 堺市・三国ヶ丘エリア



### 堺市・三宝エリア

